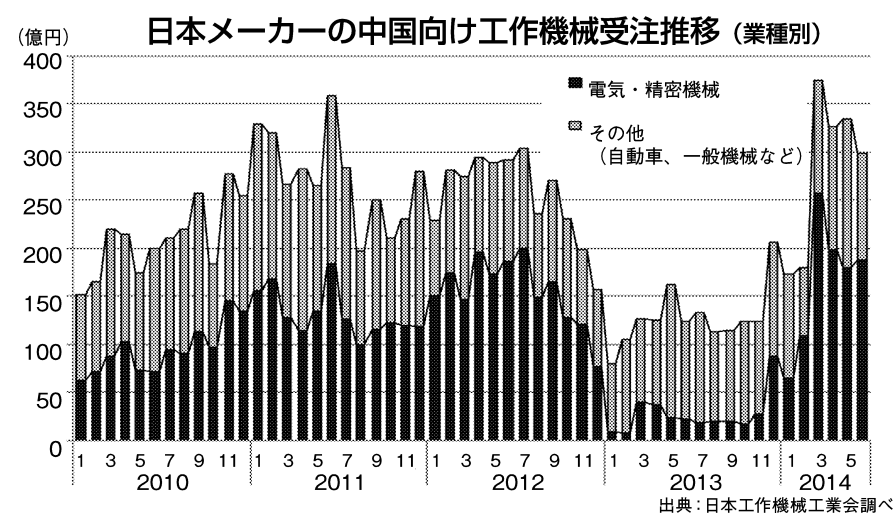
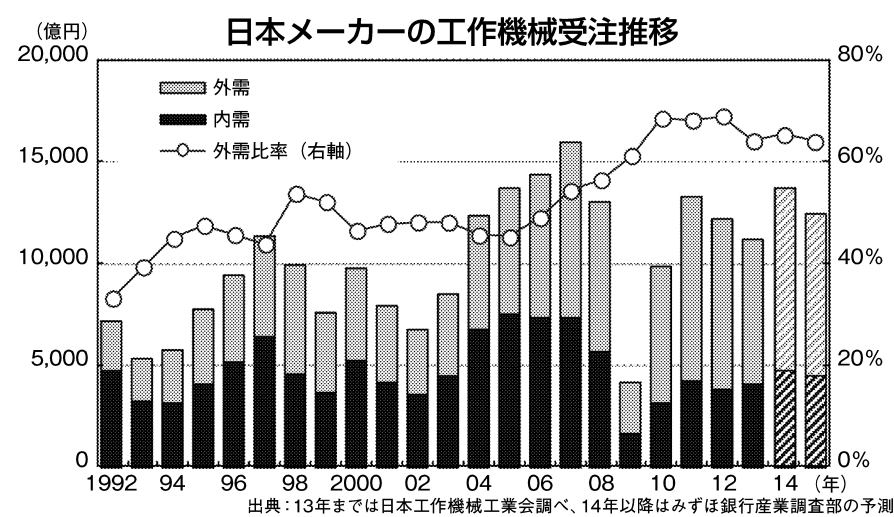


新たな領域に挑む マシニングセンター



日本の現在の工作機械受注は好調で、足元の受注状況からの予測では、14年の受注額はリーマン・ショック後のピーク時を更新する勢いだ。日本工作機械工業会がまとめた6月の受注実績は前年同月比34%増の1276億円と9カ月連続で前年同月上回る。14年1-6月の累計実績でも前年同期比35%増の7008億円と大きく上回る。

13年の受注は中国の電気・精密機械分野においてスマートフォン関連受注の剥落の影響が大きく2年連続で前年割れしたが、本ごろから同分野の受注は再度盛り上がりを見せている。スマートフォン市場の受注が全体の受注額を押し上げる状況にある一方、14年後半にかけてその需要は一巡する公算が大きく、同分野の受注動向には注視が必要だ。

内外需で盛り上がり続く

14年1-6月累計実績の内訳は、内需が前年同期比27%増の2204億円、外需が同40%増の4

2015年見通し 1兆2500億円

投資減税などの後押しもあり、更新需要が顕在化しつつある。工作機械ユーザの仕調な推移が予想される。足元の好調の要因には、15年10月の消費増税を見据えた前倒しの設備更新

エンジニアリング能力強化

日本メーカーが今後さらなる成長を続けていく上では、先進国市場だけでなく成長著しい新興国

格競争を回避し差別化を図る上で必要な取り組みとして、生産ラインの設計や加工対象物(ワーク)に応じた工作機械の提案を含めた「エンジニアリング能力の強化」が挙げられる。

一般的に先進国では製造工程の高度化への対応力、新興国ではユーザサイドに生産技術や生産ライン構築ノウハウなどが十分蓄積されていないことを背景として、ターキー提案力が求められている。工作機械メーカーは市場特性やユーザにに応じてエンジニアリング能力を発揮していく必要がある。

大手メーカーで地場代理店網を活用しながらも自前でユーザニーズを吸い上げる体制を構築する動きは従前から見られたが、近年では中堅・中小メーカーでも同様の動きが広がっている。海外拠点の陣容拡大や開発スタッフの海外派遣により、現地のニーズを直接吸い上げ製品開発に反映するといった取り組みが一つの例である。

一方、グローバル展開を展望しながらも資本力やノウハウなどが弱い中堅・中小メーカーでは、エンジニアリング能力を備える機械商社などと連携しながらグローバル展開を進めることが重要である。

ASEANをはじめとする成長性が高い新興国市場での価格競争を避け、欧州系や地場プレイヤーと差別化を図りながらシェアを拡大させていく取り組みなども求められる。そうした場合には、ユーザニーズを吸い上げる体制構築およびニーズに対応するエンジニアリング能力を自前あるいは他社と連携しながら強化していくことが、新興国をはじめとするグローバル市場での競争を勝ち抜いていく上で有効な手段となるであろう。

持続的な成長を目指す 工作機械市場の見通しと展望

みずほ銀行 産業調査部
マニユファクチャリングチーム

鈴木 裕介

比48%増の784億円、一般機械で同23%増の872億円など、軒並み2ケタ増を記録した。円高は正を背景とする企業収益の改善に加え、モノづくりにかかる投資支援、設備投資減税といった経済対策などが寄与した。

また外需を地域別にみると、北米が前年同期比5%増の1348億円と小幅の伸びであったが、

製造業の回帰を背景に引き続き拡大傾向にある。欧州では債務危機を受け一時落ち込んだが、沈静化以降、回復傾向が続いており同43%増の940億円。アジアでは中国において前年同期に落ち込んだスマートフォン関連需要が再興していることにより69%増の2411億円と大幅増を記録した。

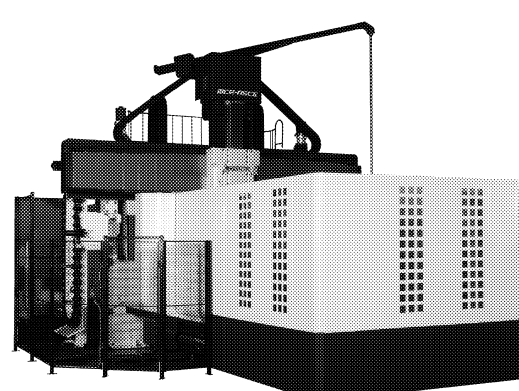
復基調が続いており、今後も航空機関連を中心に緩やかな回復を見込む。アジアのうち大きなウエイトを占める中国では、スマートフォン需要が早速、巡る見通しであるほか、成長率が鈍化しつつある状況下、自動車関連などにおいても大きく回復する展開は予想しづらい。東南アジア諸国連合(ASEAN)については、自動車メーカーによる生産能力拡大が活発化しているなど潜在的な需要は存在するものの、海外メーカーとの競合や一部中古品の流入などにより、その需要を取り込みきれない状況。欧米や中国といった市場に加え、今後はASEANをはじめとする新興国需要の取り込みの重要性が高まってくるであろう。

LOKUMA

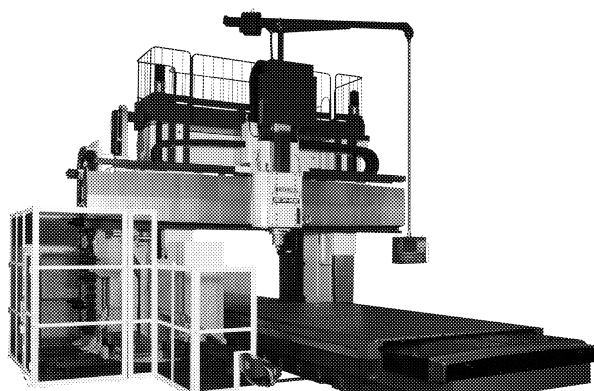
納入台数8,000台以上! 金型加工マーケットシェア60%以上!

信頼の証

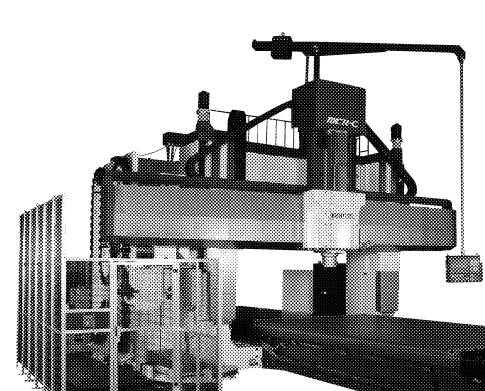
5面加工門形マシニングセンタ



MCR-ASCII

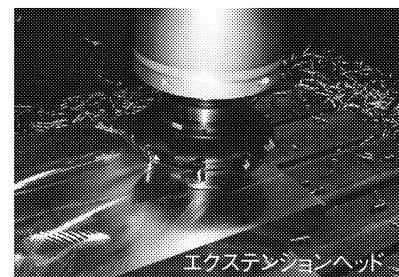


MCR-BIII

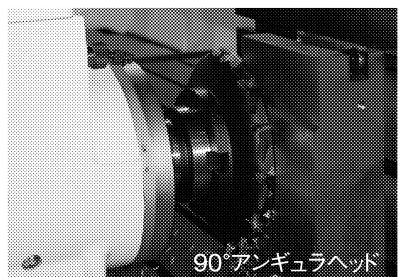


MCR-C

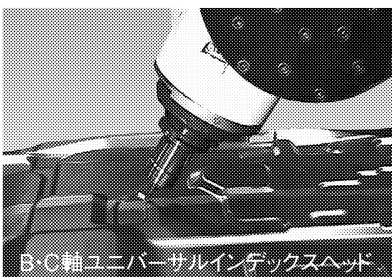
■豊富な主軸ヘッド



エクステンションヘッド



90°アングラヘッド



B・C軸ユニバーサルインデックスヘッド



高い加工能力・加工精度で大物部品加工の生産性向上を実現

大きなテーブルサイズでも抜群の寸法安定性 - 経時加工寸法変化1/4(従来機比)

オークマ株式会社

〒480-0193 愛知県丹羽郡大口町下小口5-25-1 TEL 0587-95-7823 FAX 0587-95-4091 営業部
●支店/北関東 048-720-1411 東京 046-229-1025 名古屋 0587-95-0911 大阪 06-6339-9081
●営業所/山形 仙台 郡山 日立 新潟 太田 東京 三島 浜松 安城 長野 金沢 京滋 明石 岡山 広島 高松 九州

詳しくはオークマサイトでご覧ください
<http://www.okuma.co.jp/>